

まちづくりと生涯学習振興・社会教育行政

ねらい：まちづくりにおける生涯学習振興・社会教育行政の在り方について理解する。

社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について
(生涯学習審議会(答申)1998年)

生涯学習の推進

家庭教育

子育てサポーター育成
・家庭教育講座など

スポーツ・レク・ボランティア活動

健康づくり・放課後対策
安心安全のまちづくりなど

連携・推進

連携・推進

学校教育

学校支援地域本部・
学校改善活動(コミュニティスクール)

連携・推進

リーダーシップ

社会教育

社会教育職員の職務

「教育改革に関する第3次答申」

(昭和62年臨時教育審議会)

生涯学習社会の構築

いつでもどこでも学べ、その成果が適正に
評価され、社会で生かせるようなシステム

行政の各部局が連携しながら、まち全体で生涯
学習に取り組む体制を整備していく



「生涯学習のためのまちづくり」

「社会教育」になぜ期待するのか？

生涯学習機会全体の充実・改善や、地域づくりの原動力となる
場・支援方法・人材は、社会教育にあり！

理由 1) 社会教育施設:すべての年齢層が
対象者となる学習施設
住民が身近に利用する施設

理由 2)
社会教育:地域の人々の自発的・
主体的な学習の奨励を実施
長年、社会教育は地域のニーズにもとづく支援を実施
(ニーズの発掘、学習機会の連絡・調整に長けている)

理由3) 社会教育の学習成果の活用

地域ネットワークの構築＝まちづくり・ひとづくり

同じ地域に住む人々があつまって個人の学習要求(趣味や文化活動を含む)に応える活動を長年実施。そのことにより、地域のネットワーク・人的つながりが構築されてきた。



地域の課題解決にとりくむための地域ネットワーク形成を担当できるのは、社会教育だけ

個人にとっても社会にとっても必要な活動をさがす
＝まちづくり・人づくりをテーマにした生涯学習活動

社会教育職員・公民館主事の役割

＝地域づくりのコーディネーター

【求められる役割】

- 1) 各教育機会(学校教育・社会教育・家庭教育)をつなぐ連絡調整(コーディネーター)
- 2) 従来の地域ネットワークを維持する活動
- 3) これから必要になる楽しいまちづくり活動を創造する → 講座づくりの技術